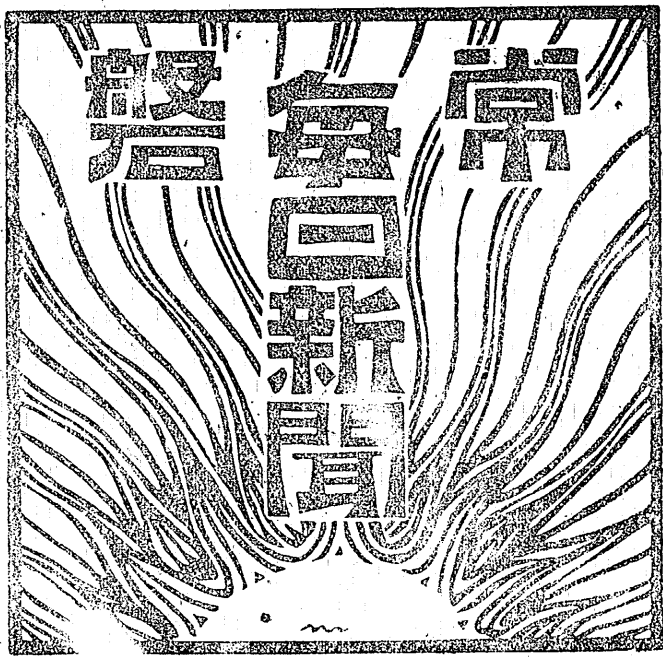


日刊 發行部編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 電話二〇七番



刊夕日五十月三

定額 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓
 郵費 在東京 每月五錢 在地方 每月六錢
 廣告 第一版 每行五錢 第二版 每行四錢 第三版 每行三錢
 電話 六三〇番

科花小内
 柳兒科
 病科
 (需應院人)
 小町細屋町
藤沼醫院
 電話 五〇七番

品作特超ノヨシクダロブノキマ
 氏平九呂多喜々壽作原
 氏郎太文川二督監
虹
 龍根中・三龍井武・郎三長嵐・畫映演主回一第生魁子智ノキマ
 博村津・子澄木鈴・郎三禮本山・兒狂杉・治文小川市・郎太
 ひ戦のざるつを戀が蛇斑がわきしは美し増もにれ其の蟲玉
 り語物きしなかもくしか艶ふ云とたしか咲を花に涯生のそし
座聲有 ネキ帝 行興大別特りよ日六十
 ノキマ

能率増進現代的日用品
 ワシ印ハラゴム印肉バット (金拾五錢)
 コレハ小サキ判或ハミトメ印用ニ携帶便利
 ライオン印萬年バット (金壹圓也)
 コレハ店判、仕切判、官廳、會社、銀行用
 (インキ) を塗らずに永久に使へるゴム印肉
 ▲僅か拾五錢で
 拾萬個印が押せます
 コノハラ萬年バットは一個が五年間以上使用出来る事
 は逓信省經理局の認定書に依り明かです
 平町古鍛冶町十番地 (電話四四番)
 萬年バット
 東北 理店 **阿康藥店**

茶時にぜひ御用意下さい
松本の最中
 (特製もなか八ツ十錢)
マツモトヤ
 平町四丁目電話二四一

銘酒 ユラノスケ
 原價 一升一圓廿錢
 空瓶五本は銘酒瓶詰
 交換いたします
 平町永山酒造店小賣部
 電話二〇七番

美術袋物カバン類の御用は
ヨドヤ「堅い品」を求めに
 飽く迄も「親切第一」を信條とします
 小さくとも「堅い店」を標語とします
 平町三丁目平銀行横
 小店員入用
 美術袋物
 カバン
 洋品雜貨
ヨドヤ雜貨店

ンバカ生學
 子帽生學
店商ヤルツ
 (番十四白話電) 目丁四町平

御進物には
 ヤマフルの商品券が一番
 醤油味噌
 たひら正宗
 鯉節食料品
 鹽屋
合山崎合名會社
 福島縣平町
 電話(營業部) 一〇番
 (醸造工場) 二七番

正 確 堅 牢
置時計
 一家團樂には...
 イロ／＼音響器に限る
 音譜種々取揃て有ります
 平町四丁目(電話三二六三)
會田時計店

新築移轉
耳鼻咽喉科専門
 場所 (舊診療所裏通り)
合津醫院
 平町仲田町(電話五五九)

入學ト卒業
 に御祝の贈物には
阿部石炭商店
 (電話二三七番)

學入御のんやち坊お
 たしまひ揃が服洋の
 荷着服洋生學入新
 黒小倉220紺ヘル540
 店服洋やかな紺サージ420

陸屋根 工事 請負 **日建商會**
 地下室 便利瓦 販賣 **味岡子之松**
 平町田町廿五(電話五二六番)

常磐第一ノ磐城炭礦ノ石炭
ツゴロクスノ特長
 一、目方ノ正確
 二、品質ノ優良
 三、配達ノ迅速
 ドーシテアンナ良イ品ヲソナニ安ク賣レルカト驚カ
 レ一度使ヘバ永久ニ使ヘ下ナルノガ當店石炭「ツ
 クス」ノ特長
 石炭は正十貫目 一俵金六十五錢也
 平 驛前
阿部石炭商店
 (電話二三七番)

町平細 **吉田眼科醫院**

平窪の患家から 野菜賣が平町へ

疑問の患者五名

なほ續出の模様

平窪では極力防疫に努め十日朝来片寄警部補以下署員總出動で平窪村中町にわたり戸別の検病調査を行ひ疑はしい患者については嚴密な

調査を

行つて居るが十四日正午に至りさらに平町字白銀町横山顯(三)が發病全身に發しんを生じ天然痘の病状を呈して來たので檢病中である、また草野

天然痘と石城郡

有難くない縁故

傳染系統を見る

いづれも東京方面から

石城郡に一時に九名の天然痘が現れたが本縣における過去三十年間の天然痘の歴史を見るにもつとも猛烈を極めたのは大正十三年の四月一名であるが何れも二月以來七月にかけて

發生し

てゐる死亡のもつとも多かつたのは明治三十九年の十一名死亡、又死亡をださなかつたのは大正十年だけである、又發生地および傳染系統を見るといづれも上海から東京に輸入されて來た關係上海岸地方でもつとも

東京

直接交渉を持つ石城郡が筆頭で本縣に天然痘の發生した際に同地

城郡草野村に二名臥床し三春署巡查なる丑藏のせがれ太田茂も會葬後歸署又丑藏は去月十五日同郡磐崎村に

傳染經路は

古峰神社詣から

發生日時がふ合する

石城地方の痘瘡病の傳播經路は既報の如く初患者太田トミ(三)の亡祖父太田丑藏の古峰神社詣でと目されてゐるので縣衛生課では同行者十名の居町を突き止め同時に會葬者三百餘名の居宅も突き止め専ら警戒中であるが葬儀の日より十四日丁度十五日目に當るので潜伏期間が二周日であるので或は今明月中に多數患者を出しはしないかと憂慮される又會葬と昨今來流行感胃が猖獗し發疹の初期が感胃と類似せるために同地方民は戦々惴々としてゐる

機關車消毒

患者の夫は

平機關庫詰

平町役場では弓田技師、羽岡警察醫、橋谷田、佐々木巡查部長が專任となり防疫

花見の場所

松ヶ岡公園を

名實相添ふ設備を

二三日來の寒さにも又も赤井の連峰には薄雪を頂くに至つたので櫻の開花を遅らすであらうと氣遣はれてゐるが中町松ヶ岡公園および新川端の櫻は昨今の蕾の様子から見れば一ヶ月後にはポツ／＼開花を見るに至るであらうと言はれてゐるので平町では近來東北地方の花の名所の誇りとして各方面の人士を引つけゐる松ヶ岡、新川端の櫻花を尙一層廣く世に紹介せんと本年もまた



家庭の蘭

平町役場では弓田技師、羽岡警察醫、橋谷田、佐々木巡查部長が專任となり防疫

募集

文藝其他投稿

を募集します

よの夫、可斗は平機關庫詰なので驛では大らうばいし同人の乗車した機關車の大消毒を行ひ可斗は高木醫師の診断を受けたが異常なきため歸宅を許された

大典祝賀

石城町村支會

議

それを引受け食糧品の供給をなすに至つたのでこれが導火線となつたものか最近茨城縣地方から食糧品の取引を平町地方へ希望するもの漸時激増し取引開始につき堅實なる商店を照會して貰ひたいと町役場の農商課あて幹旋方を依頼して來てゐる向がある夫れは主として新治、行方郡地方である

最も恐るべき

強烈な傳染力

天然痘に就いて

藤沼醫師は語る

平警察署管内に別項の如く既に九名の眞性天然痘患者を出し尙益々猖獗を極めんとする有様に患者發生地附近へは足を向けるものなく同地方民は極度の恐怖に襲はれてゐるが何故に天然痘が斯の如く恐れられるのかこれに就き平町藤沼醫師は次ぎの如く語つて天然痘に對する知識を與へて呉れた、

「天然痘は紀元千三百八十年聖武天皇の御代の頃は」

進入門を 呼吸器と

じ觸接空氣介立、血液又は患者の分泌排泄物痘瘡の内

四五日間 續けて最後に化膿期に入り顔面前額上下肢その他皮膚面隅なく陥凹形状の痘疱化膿を見感染と同時に悪寒戰慄を覺えるものであるが十六日目頃に至ればどう泡は乾燥して痂皮するが普通で傳染方も頗る永く一ヶ月は有効とさ

茨城方面

取引を開始

磐城炭礦食糧部が昨年未か會社の手をはなれて茨城縣土浦町の岡本儀兵衛氏が